

島田法人会で発行された「社会・経済のうごき@新聞」の記事の一部を紹介します。

急増する住宅ローン返済条件の変更



中小企業金融円滑法に基づく住宅ローン返済の条件変更を金融機関に求める件数が、昨年9月末以降の半年間で42%増加していることがわかった。急増の背景には、給与やボーナスの減少により、毎月の返済額や金利減免を求める個人の増加がある。円滑化法施行の2009年12月から今年3月までの返済条件の申請の累計件数は16万7554件で、金融機関が応じたのは12万5721件となり、審査中や申請取り下げを除いた実質実行率は91%となっている。

脳の老化を調節するタンパク質を発見



産業技術総合研究所と筑波大との共同研究によって脳の老化と若返りを調節するタンパク質がマウス実験で発見された。タンパク質は「ウィント3」と呼ばれ記憶などを司る海馬の中で、神経の元になる神経管細胞と隣接するアストロサイト細胞が分泌することがわかった。老齢マウスのウィント3生産能力は若齢マウスの30分の1になっていた。マウスに1日20分のランニングを2週間させることでウィント3の生産が大幅に増え、運動効果によって脳の老化を防ぐ効果も実証された。

8月20日 今年も素敵な木工作品できました。
ご参加下さった皆さま、誠にありがとうございました。



藤枝市K邸 木工事順調です。詳しくはブログ「新築現場につき」をご覧ください。来月完成の予定です。10月29・30日完成見学会開催予定です。お楽しみに！

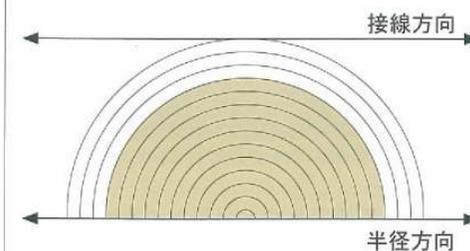
(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

木くぼり

目からウロコが落ちる木の話II

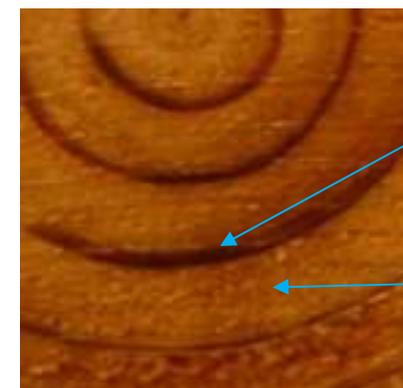
図1 板目板が反る理由

接線方向の収縮率は半径方向の2倍である。つまり、接線方向の方が縮みやすい。



No. 99 発行 '11-10月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室



冬目
夏目

板目が反るのは水分量が違うから？

「板目板が木表面に反るのは、木表面の方が水分が多いため」と習ったことがある方もいるかもしれませんが、これもウソです。板目板が木表側に反る理由は非常に簡単で、接線方向が半径方向よりもおよそ2倍縮むからです。そのため、どこから板目板をとっても木表の方がたくさん縮み木表側に凹に反るのです。

「樹木の材料は土の中の栄養分」は勘違い。

「樹木の材料は土の中の栄養分」と勘違いされている方が多いのですが、実際には樹木は根から吸い込んだ水分と葉から吸収した二酸化炭素から、光合成によりブドウ糖をつくり、これをもとに樹体をつくります。ですから、木材の材料は空気中の二酸化炭素なのです。

また、業界では年輪の色の薄いところを「夏目」、濃いところを「冬目」と呼びますが、これは誤解を生みやすい表現です。「夏目」は夏に「冬目」は冬にできると勘違いされがちですが、実際には「夏目」は春から夏に、「冬目」は夏から秋にかけてできます。冬には、落葉樹は葉を落してしまいますし、常緑樹も冬眠状態になり、細胞分裂はしていません。



林 和行 著